



新年の挨拶

理事長 五十嵐 紀子



2026年新年明けましておめでとうございます。今年は午年午の様に勢いよく駆け抜け勝利に導かれる様、努力して参りたいと思います。

光友会が誕生してから49年目になりますが、半世紀に及ぶ年月を一步一歩役職員、関係者の皆様と共に事業を拡張しながら歩みを進めて参りました。

最初の頃は就労と生活の場の2本立てで、相互協力で進んで行こうという方針でありました。

就労では年間1億円達成の祝賀会も実施し、生活の場の方も50名の定員から60名定員とし、また短期入所も18床と多くの枠を用意しました。

しかし、時代は変わり、就労の方は農福連携、生活の場の方も定員をやや縮小して現在があります。

農福連携の方は近くの田んぼをお借りし、約2tのお米を収穫し、ふるさと納税の返礼品にも使っていただき、ぶどうの栽培でも今年はフルボトルで約120本のぶどう酒を完成させました。また、ライフ湘南では、茅ヶ崎の道の駅で月に100万円の売上をあげています。

現在、障害者雇用について国は一般企業への就職を積極的に進めており、農福連携についても推進しています。

また、生活の場の方では支援の質の向上と当事者本人の意思決定を重視した支援が提唱されており、職員が集まりにくい中、大変な状況をかかえています。

しかし、私たちはこの様な困難を全職員の協力で乗り越えて参ります。

今年1年皆様にとっても良い年となる様、祈りながら、私共にも相変わらずのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

Index -もくじ-

P1 年頭のごあいさつ | P2 第32回光友会ふくし村まつりを開催しました | P3 第10回光友会福祉川柳選考結果について
P3-6 事業所だより | P6 ドクトルアサクラの心の散歩道③ | P7 永年勤続表彰 | P8 光友会事業推進協議会だより

新春の集い

1月5日、恒例の「光友会新春の集い」が開催されました。多くのご来賓や関係者のご臨席のもと、式典では、当法人に多大なご支援を頂いた方々への感謝状贈呈と永年勤続職員表彰、福祉川柳入選作品の発表が行われました。

皆様と直接お会いでき、新たな一年のスタートにふさわしい晴れやかなひと時となりました。



ふくし村まつり及び、文化祭のお礼

11月15日(土)湘南ふくし村(獺郷1008)において光友会ふくし村まつり及び、文化祭を開催しました。昨年同様今回も対象者を定めず、オープンに行いました。今年は拡張した第2駐車場で初の試みである模擬店及びイベントを同時開催し、文化祭については点字体験・利用者作品展示・給電車デモンストレーション、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス学生協力のもと昨年気だった「モルック」及びボードゲーム「グラマ」を体験して頂き、模擬店についてはキッチンカーも含みたくさんの店舗が出店して頂き、またイベントは101(ワンオーワン)の殺陣演武、三味線演奏、お笑い芸人によるパフォーマンス等昨年以上の盛り上がりでした。

大抽選会では、今年もふくし村まつり大賞がタラバガニという事で、すごい盛り上がりでした。

実行委員会事務局 室町 辰雄



第十四回 光友会福祉川柳入選作品発表

最優秀賞

寄り添つて 共に泣いた日 今笑顔

「コメント」 我が妻と出来ない事を言い合つてよく泣きました。
だから一人で強くなつて今は出来ない事を笑い合えます。

優秀賞

身振りから 言葉無くとも メッセージ

「コメント」 話せなくとも、気持ちは十分に、伝わってきます。

車イス 押す手が代わる ウエディング

「コメント」 二人の愛が結ばれ、支え合つてが繋がつていく
人生の美しい節目を描きました。

佳作

待つことを 教えてくれた 我が息子

この家に この子生まれた 意味がある

これできだ！ 一つできれば 記念日に

誰よりも ひとの気持ちに 気付く君

道聞かれ そつと肩だし ご一緒に

かわうそ賞

日常を 紡いで今を 生きている

ただいまと 言えぬ我が子を 抱きしめる

また一つ 「できる」 が増えて 笑顔増え

見えないを 見えるにしてる 心の目

白杖に 気づかぬ歩き スマホ族

お兄ちゃんらしくなつたね 「半分こ」

老いた母 息子の味に舌鼓

特性は 百人いれば 百通り

偏食を 相手に自称 栄養士

ありがとう 返しきれない 妻の愛

心には 「スマイル」 という 常備薬

車いす まごころ乗せる 駅員さん

白杖に 車内は 「どうぞ」 の大合唱

今日は目を 見つめ話した 記念の日

フツウつて 誰が決めるの？ 子の心

敷きすぎず レール逸れても 子は育つ

妻が押し 父がナビする 車いす

寝がティブが歩ジティブになる 障がい児

おたよりは ゴシック太字で 書くからね

息子が俺を 背負う今



事業所だより

湘南希望の郷

クリスマス会

今年はクリスマス会を1日通して行う予定でしたが、希望の郷での感染症流行の影響により、急遽内容を変更して2日間に分けて行いました。

1日目は皆さんがあれぞれ選んだケーキやプリンをクリスマス会特別メニューと一緒に美味しくいただきました。2日目は可愛く着飾った職員サンタさんがクリスマスプレゼントを皆さんに届けてくれました。事前にお伝えしていた内容とは異なりましたが、皆さんの笑顔も見られ楽しんでいらっしゃる様子が感じられました。

来年は今年の分まで盛り上がりあつたらいいなと思います。



山ノ内 尚樹

湘南あっとほーむ・ひだまり

2025ひだまりクリスマス会

12月22日の夕方に、少し早めのクリスマス会を開催しました。今年もひだまりにサンタさんとトナカイさんがプレゼントを持って来て下さいました。ヽ(=△=)ノ夕食はクリスマススペシャルディナーです。メニューはコーンスープ・サツマイモサラダ・チキン・ライス・「Merry Christmas」と飾られた大きなチョコレートケーキでした。入居者様のプレゼントを貰つて「ありがとう！」やケーキを頬張つて「美味しい！」の言葉と、笑顔に溢れたクリスマス会となりました。

大久保 真



事業所だより

サンライズ

おおば外壁塗装と草刈で心機一転！

今年の9月に、草木で覆われていた庭とホーム周辺の草刈を行い、本来の景色を取り戻しました。日当たりも良くなり、洗濯物もすぐに乾いて皆さん大喜びです。そして、長年風雨からホームを守っていた外壁と屋根でしたが、とうとう限界に達してしまいました。ホームに入居されている方達の生活を継続する為に、11/20～12/19までの約1ヶ月の時間を費やして見事に復活しました。そんな姿を皆さんにお披露目します！

近藤 洋嗣



ライフ湘南

横浜ランドマークタワー・中華街に行ってきました！

11月22日、日帰りバス旅行として、横浜ランドマークタワーと中華街に行ってきました。ランドマークタワーでは360度の壮大な景色とトムとジェリーのスタンプラリーを楽しみました。中華街ではオーダーバイキング形式の本格的な中華料理を堪能しました。エビチリや北京ダック、デザートの杏仁豆腐までお腹いっぱいになるまで大好きな料理を食べ尽くし大満足の旅行となりました。

尾崎 隼祐



神奈川ワークショップ

新年を祝う会開催！

- 豪華な食事も、当てくじも、みんな大当たりで楽しかった！(Yさん)
- 食べたことも聞いたこともあまりない料理を食べられてうれしかった。あてくじでお菓子が当たってよかったです。(Aさん)
- お肉が美味しかった。楽しかった。(Mさん)
- クジがはずれて残念。(Nさん)
- もう少しこいいクジを増やして欲しい。(Aさん)
- これからも、もっとやって欲しい。(Kさん)



寒川事業所

冬の定番！ カキフライ定食再登場！

冬の季節限定メニューとして「カキフライ定食」が再登場します！

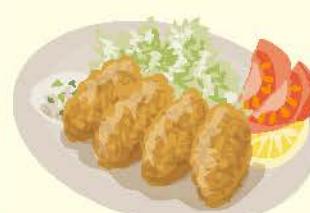
揚げたてのカキフライがたっぷり5個付で、一口食べれば外はサクッ、中はジューシーなカキの旨味が口いっぱいに広がります！

食材高騰の中ですがお手頃価格760円にて提供させて頂きます！

冬期限定人気メニューです。この機会に是非ご賞味ください！

利用者職員一同お待ちしております!!

室町 辰雄



事業所だより

発達支援センターリエール

毎年のおたのしみ

毎年、クリスマス時期の楽しみになっている株式会社いすゞ自動車株式会社さまよりケーキの寄贈がありました。写真に掲載されている通り、皆々さま方とても良い表情にて食事を楽しんでおられました。複数あるケーキを並べ「どれにしましょう」とお声掛けすると一番大きなケーキを選んでいる姿を見ると児童でも成人でも楽しみがあるのは生活には必要なことだよね、と支援者間でもほほえましい気持ちになりました。

石井 健太



太陽の家 しいの実学園

お楽しみ会を開催しました☆

12月19日に、しいの実学園でお楽しみ会がありました。サンタクロースとトナカイがプレゼントを届けてくれたり、子ども達が作ったマラカスで合奏したり、手作りのクリスマスツリーにオーナメントを飾ったりと、クリスマスの雰囲気を感じられる、温かくて楽しい時間を過ごしました。会の後には、それぞれのクラスに届いた玩具で、夢中になって遊びました。これから、大切に使っていきたいと思います。

松田 桃枝



湘南台地域包括支援センター

11月21日、湘南台中学校1年生（196名）を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。講義、寸劇、グループワークという内容で、できるだけわかりやすく、興味を持ってもらえるように工夫しました。通常の認知症サポーター養成講座の教材を、中学生向けにアレンジしたものを参考に講義を行い、特に認知症の方への基本的な接し方について丁寧に説明しました。その後、認知症の高齢女性が道に迷った場面を想定した寸劇を行い、観劇した生徒さんたちにグループワークで、率直の感想や、そのような場面に遭遇したら、どのような対応をしたらよいかなど、話し合ってもらいました。湘南台地区は高齢者率が市内で一番低く、若い世代が多い地域です。今後も若い世代へのアプローチを続けていきたいと思っています。

大西 剛



太陽の家 藤の実学園

12月12日に藤の実学園の お楽しみ会を開催しました！

今年度もご家族が参加されて楽しい時間を過ごしました。

利用者さんの出し物では音楽に合わせてダンスや歌、楽器演奏が披露され、会場は大盛り上がり！

創作では、緑ダンボールに様々な装飾を貼り、大きなクリスマスツリーを完成。

職員出し物では新人職員による『琴』の演奏。透き通る音色に館内が包まれました♪

最後にはスライドショーを上映して今年一年の思い出を振り返りました。

水科 渉



事業所だより

いそご地域活動ホームいぶき

いぶきでクリスマス会

今年のクリスマス会は25日の午後に食堂で開催しました。職員、利用者とともにクリスマスの服装で、レインボーによる「聖しこの夜」のハンドベル演奏から始まり、サンタからのプレゼントを受け取り、グループごとに写真撮影を行いました。また各グループの利用者が前準備として制作や、演奏の練習を行い、食堂には2週間かけた大きな壁面ツリーが飾られました。当日は皆さんとても楽しんでいました。

平賀 紅音



ドクトルアサクラのこころの散歩道③

朝倉 新

こんにちは。「おそごうこころのクリニック」院長の朝倉です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

はやいもので、連載3回目になります。

さて今回は、ランニングをはじめとした運動が、いかに脳やメンタルによいかという話からはじめます。近年、それ関連の研究論文が海外から頻発しています。

一般書で有名なのは、ジョンJ.レイティさんの書かれた「脳を鍛えるには運動しかない！」でしょうか。冒頭に米国シカゴの高校でのとりくみのエピソードがでてきます。この学校では毎朝授業が始まる前に「0時限」という時間割がくまれており、希望する生徒が校庭にでて走ることになっているようです。その結果、朝運動した生徒とそうでない生徒の成績を比較したところ、有意に前者の成績がよかつたといいます（ジョンJ.レイティ「脳を鍛えるには運動しかない！」NHK出版2009）。確かに私も適度に走った後に脳を働かせる作業をすると、するするはかどる感覚を持つことが多いです。また、私が嘱託医をしている施設や学校では、早朝にマラソンをしたり散歩をするプログラムを組んでいるところも多いですね。当クリニックのとなりの事業所でも、一日何回かの散歩をしていますよね。良い取り組みだなあと感心しております。

蛇足ですが、このレイティさん、大人のADHD（注意欠如多動症）の研究で著名な方で、私が若いころは、彼の論文にいろいろお世話になったことがありました。大学での論文制作の日々を思い出し、個人的に懐かしく思った次第です。

ということで、走ることをはじめとした運動が脳やメンタルによいかということが現在の流れになっています。しかし現実はなかなか運動するとなると腰が重いですよね。特に最近の若い人たちはで体を動かす系の趣味をもつ人は、少ない傾向にあるようです。

いわゆるZ世代（1996年～2009年に生まれたスマホSNSネイティヴ世代）近辺の人たちの趣味を調査したデータによると、1位が動画視聴、以下映画、漫画アニメ、ゲーム、音楽と、ほとんどインドア系の趣味が連なっている状態です（博報堂生活総合研究所「Z家族～データが示す若者と親の近すぎる関係」光文社新書2025）。

確かに、マラソン大会でも、ランナーはほとんど中高年で占められ、10～20代の人たちは記録を狙うアスリート系の人たちが大半です。

最後は恒例のマラソン大会報告です。

去る10月19日に開催された四国の四万十ウルトラマラソン100kmの部、お陰様で無事完走いたしました。スタート直後から600mの山を越えるコースで、これはいわば高尾山を走って上り下りすることに匹敵するのですが、それをどうにかクリアし、そのあとは「世紀の清流」四万十川を右に左に眺めながらのランニングを満喫しました。前夜はスタート会場の臨時駐車場での車中泊となり3時間くらいの睡眠でした。「24時間TV」も真っ青の状態でしたが、皆様の応援もありなんとか完走しました。みなさまありがとうございました。

御清読ありがとうございました。

●新任在宅福祉部部門統括紹介●

「ザ・ロイヤルファミリー」という競走馬の世界を舞台にしたテレビドラマが注目された2025年が終わり、午年の2026年の年明けとともに社会福祉法人光友会に迎え入れていただき、光友会の職員の一員となりました竹内幸夫(たけうちゆきお)と申します。

今まで光友会とは特段の接点があったわけではないにも関わらず、五十嵐理事長からお声掛けをいただき、微力ながら少しでも力になることができればと懇意の地に足を踏み入れました。

交流の場である「さがみライトサロン」を開設し、神奈川県の障害者地域作業所の第1号として事業を開始し、その後も利用者の意向を汲み取り、地域のニーズを受けとめて、さまざまな事業を推進し、近年では農福連携、共生社会に力を入れてきた光友会であると改めて感じました。

私が学生時代に福祉に興味を持ち、ボランティアを始めた当初に東京の下町でも立ち上がり始めた障害者地域作業所に関わっていたことなどをきっかけに福祉の仕事に携わり続けていることを考えると、光友会の生い立ちと時代背景や経過等が重なり、何ともいえない親近感を感じています。

年齢的・体力的には、若駒のように飛び跳ね、さっそうと駆けることはできませんが、光友会の利用者、ご家族、ボランティア、地域の方々、関係者の皆様にご支援・ご協力をいただきながら光友会の事業の維持・発展に努めています。たいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。



竹内 幸夫

新人紹介

- ①今夢中になっている事
②実は私は○○なんです or
○○だったんです

発達支援センターにじのわ

①青釣り
②春です
釣りで
八切符
旅が好き
なります
ます。
釣り
マス釣り
海釣り

鈴木美由紀
すずきみゆき

湘南あっとほーむ・ひだまり

①夕食のレパートリーを増や
す。
②凄く凝り性なん
です。

瀬名波京太
せなはきょうた

発達支援センターりエール

①休日バイクに乗ってサウ
ナでととのうこと
②ギターの演奏が趣味なん
です。

藤原浩士
ふじわらひろし

2026年 表彰一覧、 感謝状贈呈



職員永年勤続表彰者

30年勤続

米永 昌輝
田邊 行洋
溝渕 崇

20年勤続

井地 洋平
櫻井 美樹男
小林 英正
野間 紀子
井出 博
野見 和子

10年勤続

横 梶千春
結城 記子
寺本 薫
関戸 恵菜
首藤 一暁
堀井 詩乃
稻葉 朋子
佐々木 あづさ

非常勤20年勤続

手塚 由美子
原 浩紀
高森 ゆきえ

非常勤10年勤続

近藤 真喜
法人本部

感謝状贈呈者・団体

叶 政勝様

在宅福祉部 障がい福祉センターひかり
藤沢南地域福祉部 放課後等デイサービス太陽の家
磯子地域福祉部 いそご地域活動ホームいぶき

就労福祉部 ライフ湘南
藤沢南地域福祉部 太陽の家運営管理室
藤沢南地域福祉部 太陽の家キャロット
藤沢南地域福祉部 放課後等デイサービス太陽の家
磯子地域福祉部 いそご地域活動ホームいぶき
磯子地域福祉部 事務管理

藤沢北地域福祉部 湘南希望の郷
藤沢南地域福祉部 放課後等デイサービス太陽の家
藤沢南地域福祉部 しいの実学園
藤沢南地域福祉部 しいの実学園
磯子地域福祉部 いそご地域活動ホームいぶき
磯子地域福祉部 いそご地域活動ホームいぶき
磯子地域福祉部 磯子区基幹相談支援センター
磯子地域福祉部 いそご地域活動ホームいぶき



クリスマスケーキ ありがとうございました!

今年もいすゞ自動車株式会社藤沢工場様より、クリスマスケーキを当法人事業所に寄贈いただきました。利用者さんの笑顔をもってお礼とさせていただきます。ありがとうございました。



ありがとうございました タオル寄贈の御礼

12月9日に鶴沼東民生児童委員協議会様より、エプロンとタオル・雑巾をたくさんいただきました。湘南希望の郷で有効に活用させていただきます。



・・・光友会事業推進協議会だより・・・

第2回企画運営会議を10月31日13時から、かわうそ1階にて行いました。当日は代議員及び会計監査役を除く役員の内、「出席者」17名に「事前に欠席通知があった役員」14名を加えて、出席数は31名となりました。

【議案1】文書管理について

今後の文書管理方法について確認を行いました。

＜決定事項＞文書管理についてはクラウド（Google ドライブ）を使用し、眞鍋副会長と村井調整役、高安事務局が中心となって進めることで、全員一致で可決しました。

【議案2】チラシの作成について

新しいチラシについて皆様からご意見を基に作成します。

＜決定事項＞眞鍋副会長、高安事務局、村井調整役の3名で叩き台を作成し、次回会議で提示することで、全員一致で可決しました。

【議案3】ふくし村まつり推進協ブースへの派遣について

すでに藤沢北福祉部の事業所から1名の協力が得られており、残り2名について各事業所に協力を呼びかけることが確認されました。

＜決定事項＞各事業所で協力していく事で、提案のとおり全員一致で可決しました。

イオン藤沢店が2026年1月末で休業し、建て替えが行われる事となり、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」も2025年12月を最後に終了する事になる報告がありました。長年にわたり、キャンペーンに参加させて頂き誠にありがとうございました。

村井調整役

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。本年もLFAだよりを通して施設情報等を皆様に御提供させて頂きますのでご期待ください。

光友会も来年で創立50周年を迎えます。これもひとえに皆様の支えがあっての事だと思います。これからも宜しくお願い致します。(T.M.)

編集委員

五十嵐委員長、高安・森（法人本部）、中野・室町・小原（就労福祉部）、丸山・大久保（藤沢北地域福祉部）、大貫・森（相談支援・地域医療部）、近藤・辻元（在宅福祉部）、松田・水科（藤沢南地域福祉部）、加古川（磯子地域福祉部）なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、または団体の了解を得ています

季刊 LFA 第168号

発行日	2026年1月
発行者	光友会
責任者	理事長 五十嵐 紀子
発行所	〒252-0825 藤沢市獺郷1008-1 社会福祉法人 光友会 電話 0466-48-1500
印刷所	光友会 神奈川ワークショップ